

こんなことができます!

農商工連携や 6次産業化、 地産地消の取組みを サポート



夢

福島県の豊かな食と農を次世代につなぎたい

経済経営学類

則藤 孝志

NORITO Takashi

特任准教授（博士）

研究室 URL

<http://shokunou.net.fukushima-u.ac.jp/>
<http://tnorito.sakura.ne.jp/>

専門分野

フードシステム論
食と農の地域経済学

特許情報、著書、論文

則藤孝志 (2015) :食と農で地域をつなぐ協同のあり方—真の地産地消と6次産業化を問う—『協同組合研究』第35巻第1号(13-20頁)

則藤孝志 (2015) :原子力災害後の福島県が抱える流通問題と地産地消を取り戻す意義—風評問題への流通アプローチ—『にじ』2015年冬号(121-129頁)



震災と原発事故から5年、福島県はいま、復旧段階を経て、将来を見据えた地域づくり・産業づくりの段階へと入ろうとしています。

今後豊かな地域経済を築いていくためには、基幹産業の1つである農業の再生に加えて、農業と食品産業（食品製造業、食品流通業、飲食業）、関連部門（観光、医療・福祉、教育など）とのつながりを地域内で取り戻し、強化していくことが求められています。これら「地域の6次産業化」の継続・発展メカニズムの解明をめざす研究を進めています。

想定するパートナー

農業生産者、農協、自治体、食品事業者、流通業者

具体的な連携、事業化のイメージ

地域ぐるみで農商工連携や6次産業化、地産地消を育む体制の構築と事業実践

これまでの取組事例

郡山市、南会津町、国見町などをフィールドに自治体や企業と連携して調査研究を行い、①事業者の経営理念、②協同組合、③技術革新、④行政支援を組み込んで「地域づくり」に活力を与えていくような仕組みを食農連携の継続・発展モデルとして提案しています。

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

